



モデル 120000

Power Built™ 825/850/875/900 シリーズ™
Intek™ I/C® 825/850/875/900 シリーズ™
I/C® 825/850/875 シリーズ™

モデル 150000

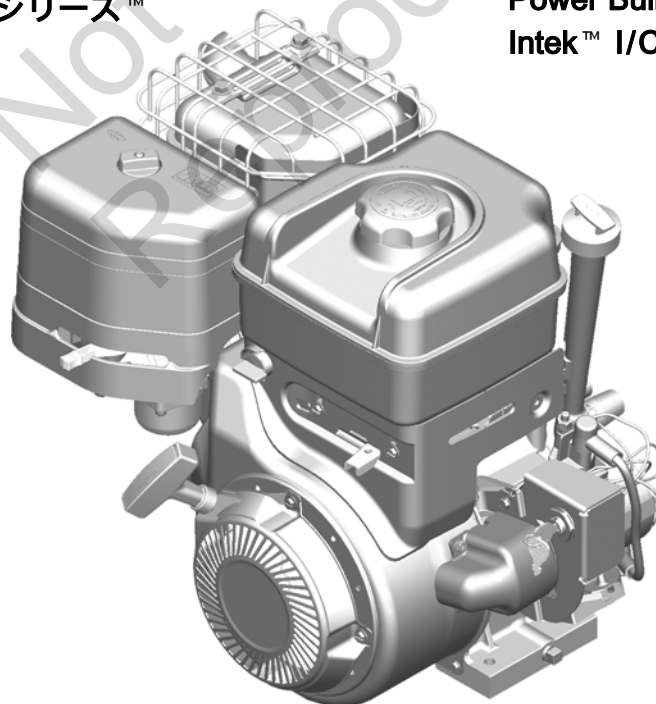
Power Built™ 1100/1125 シリーズ™
1150 シリーズ™

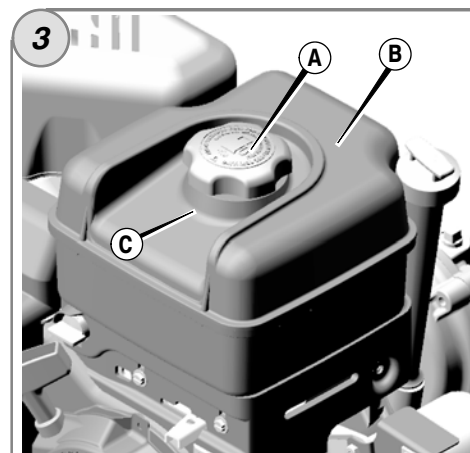
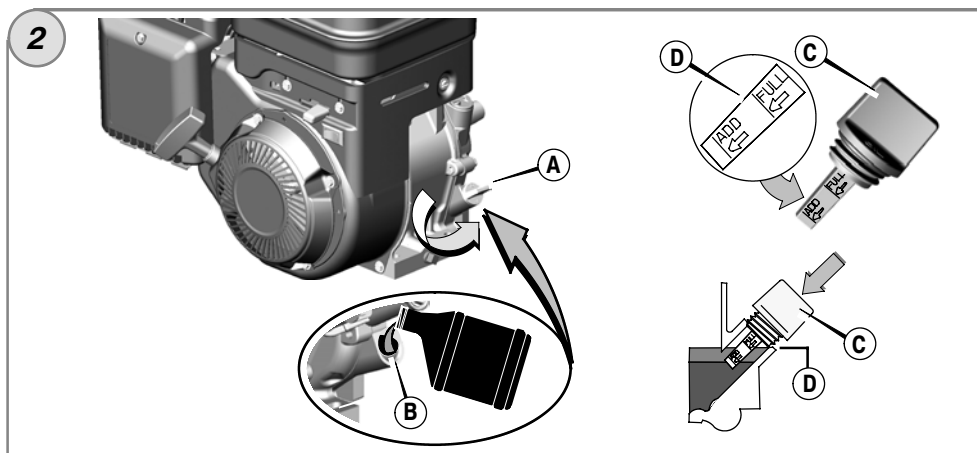
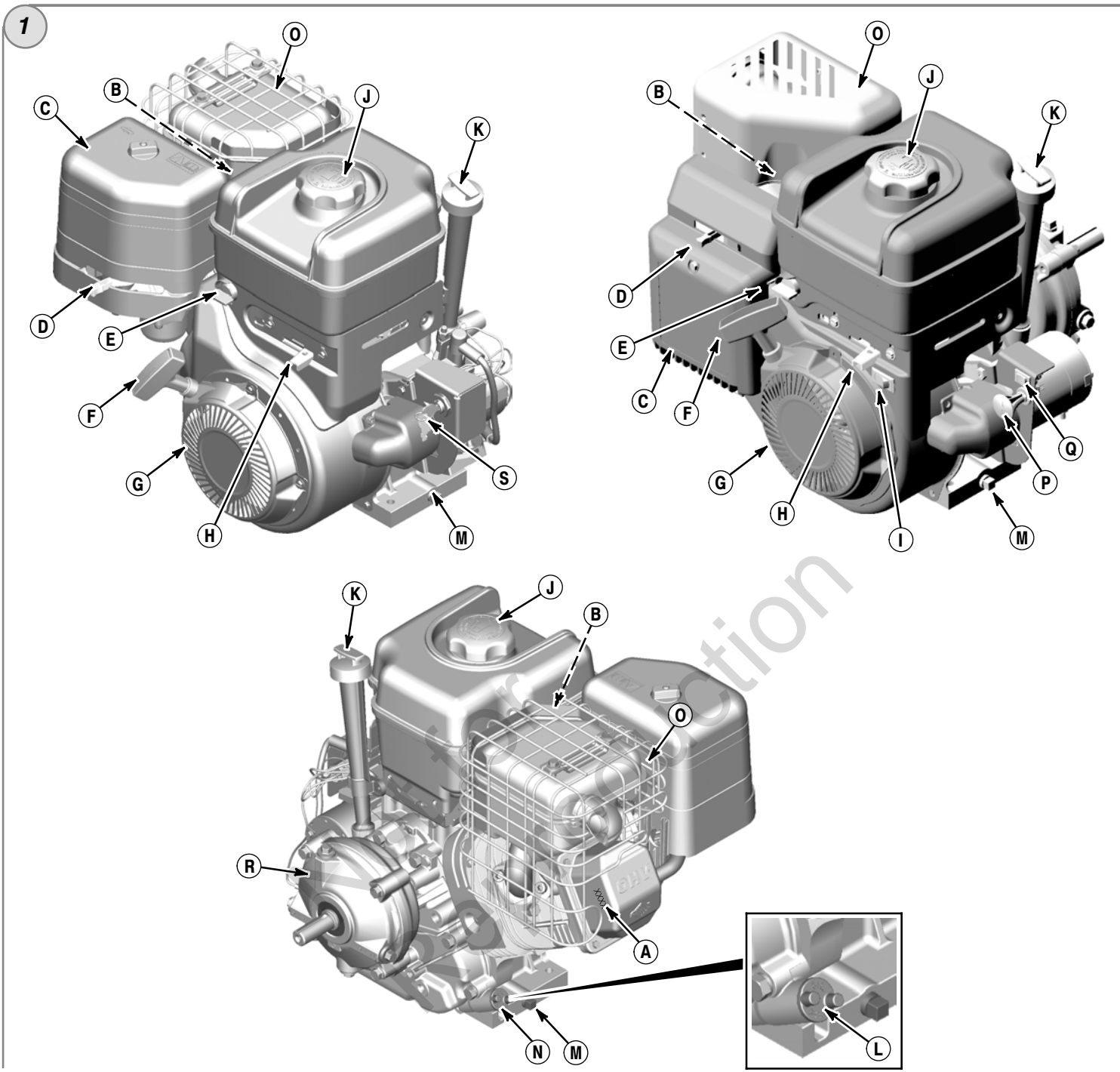
モデル 200000

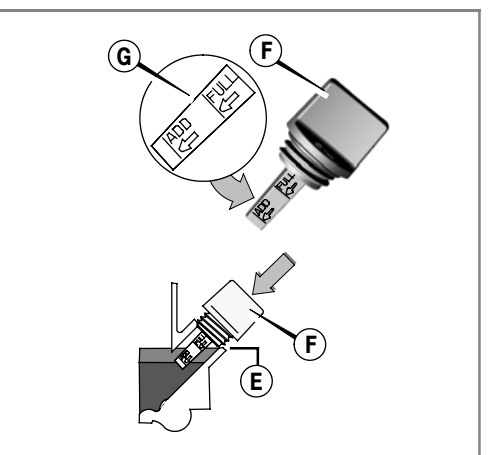
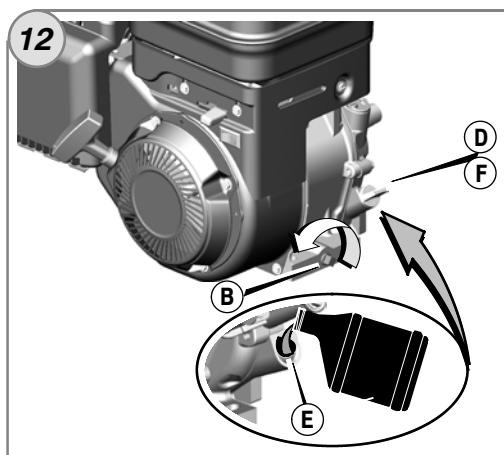
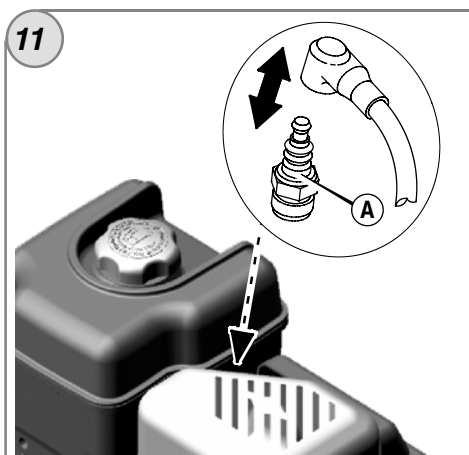
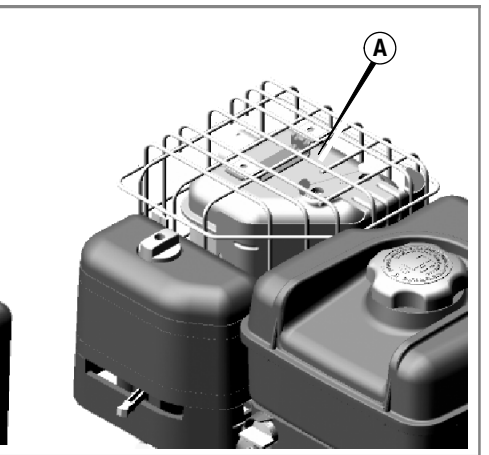
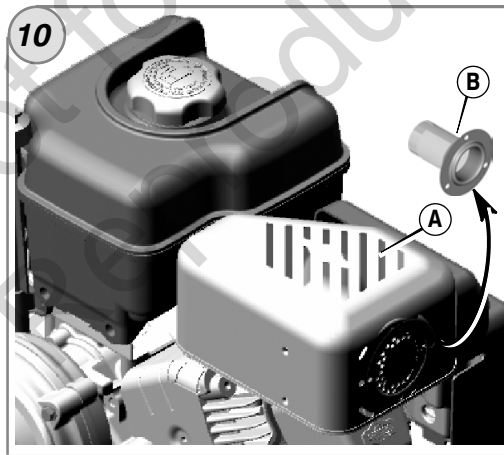
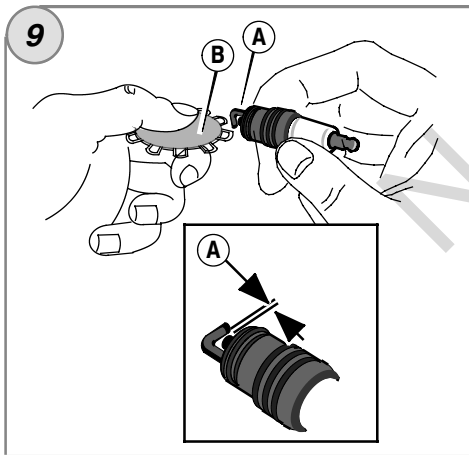
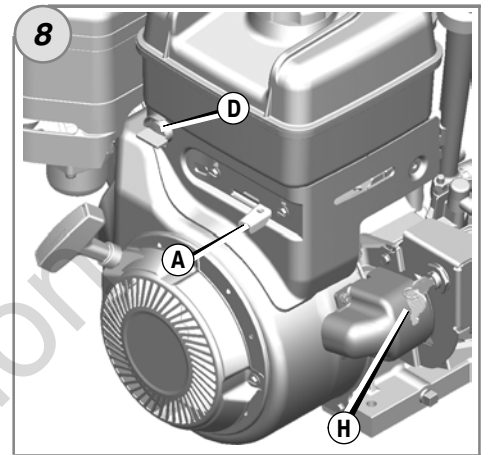
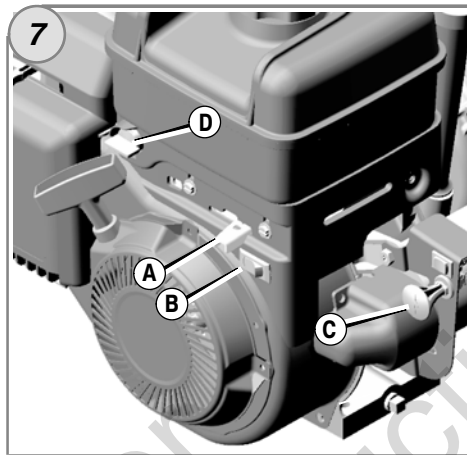
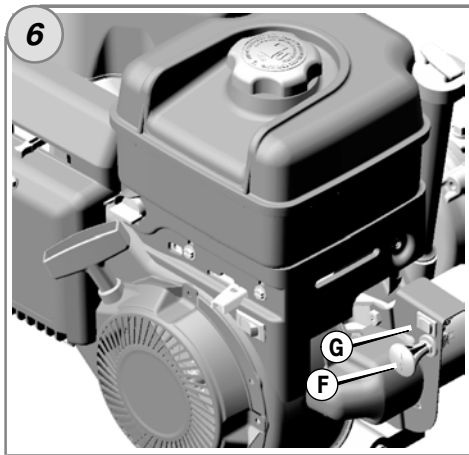
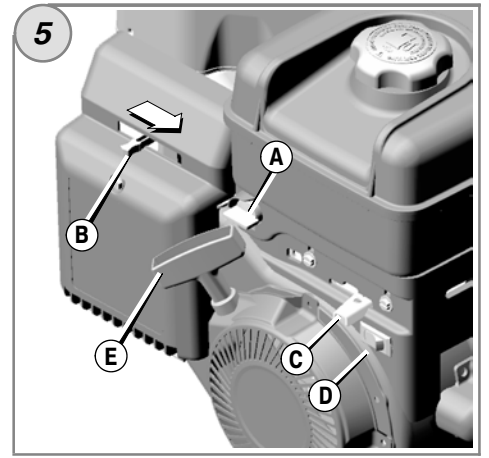
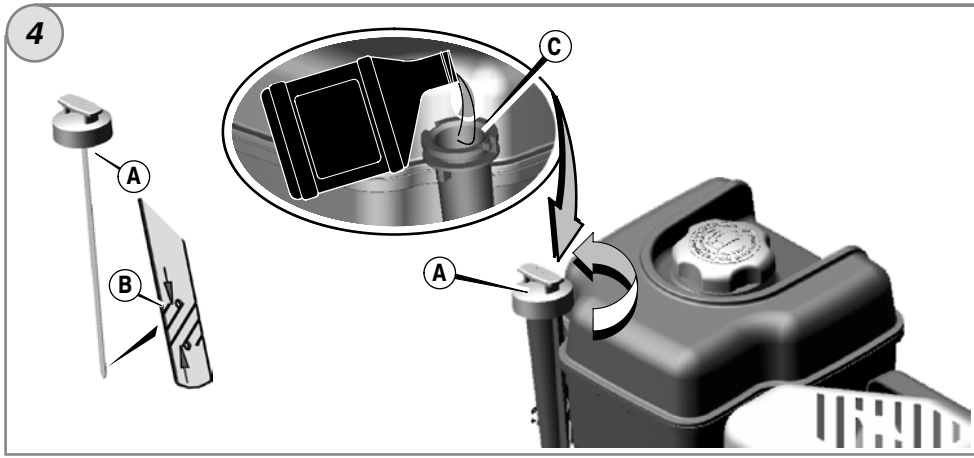
Power Built™ 1350/1450 シリーズ™
Intek™ I/C® 1350/1450 シリーズ™
I/C® 1450 シリーズ™

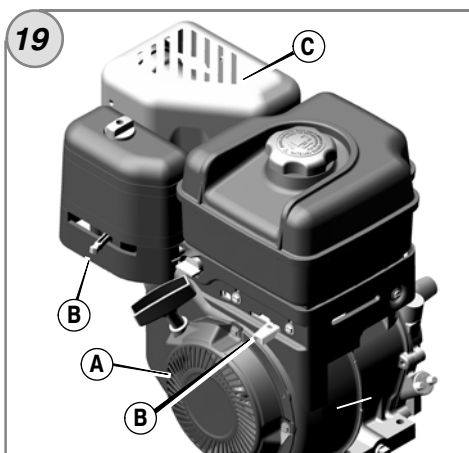
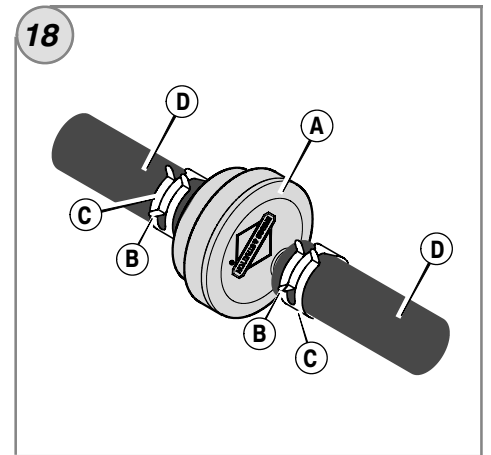
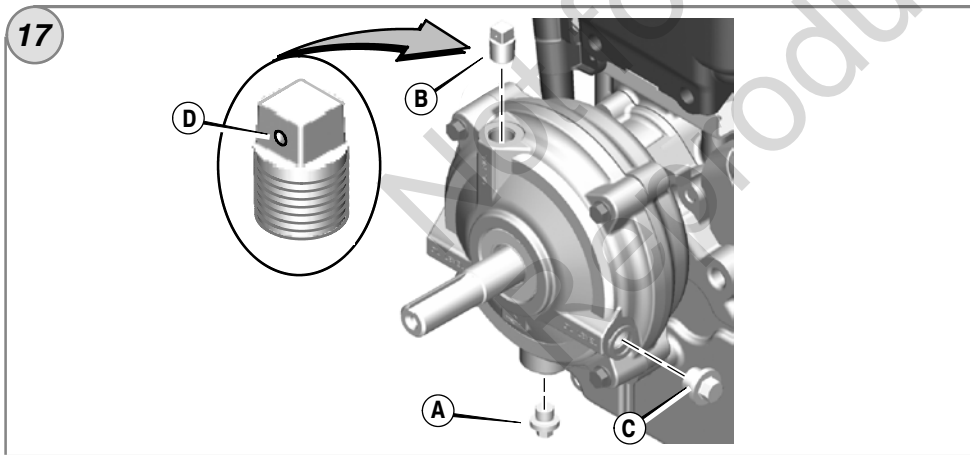
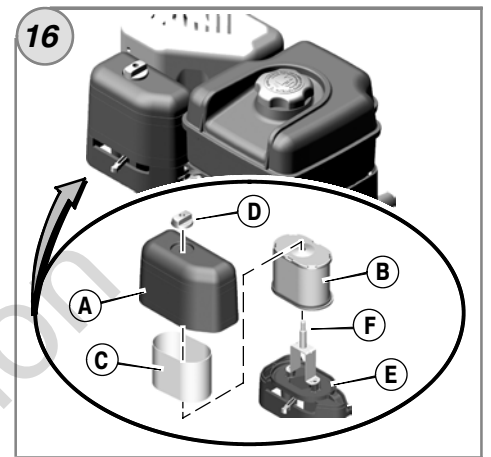
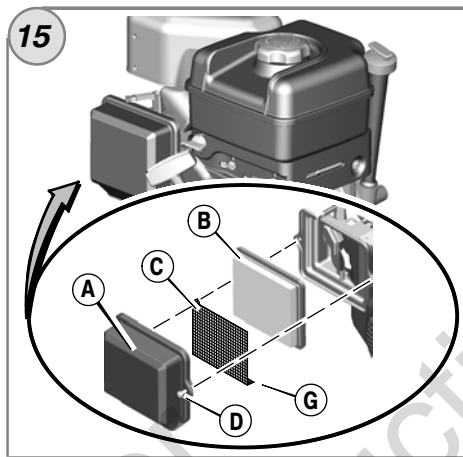
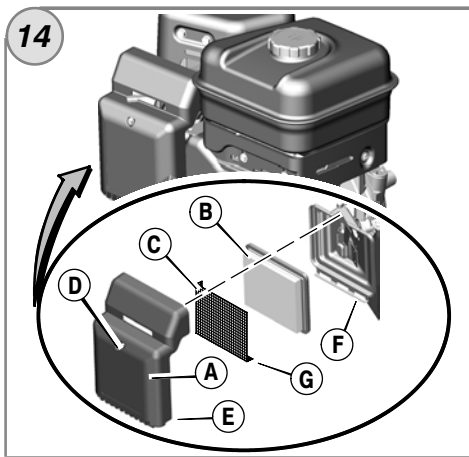
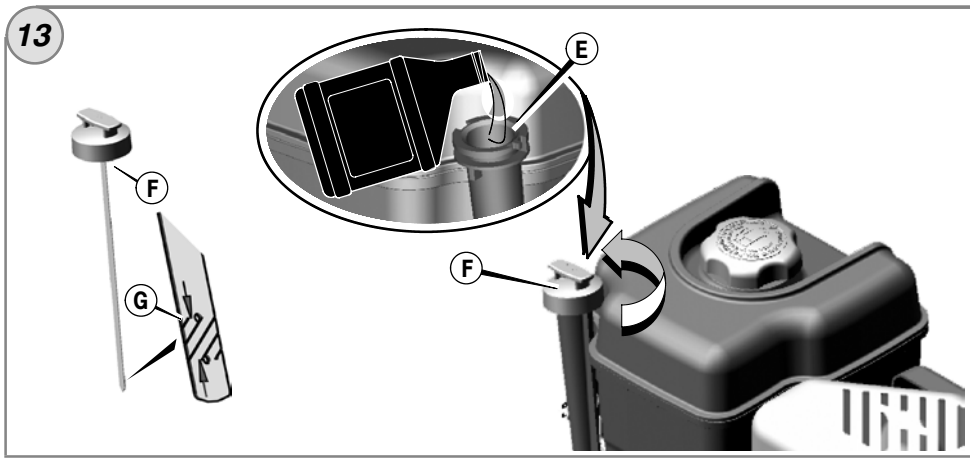
モデル 210000

1550/1650 シリーズ™
Power Built™ 1500/1575 シリーズ™
Intek™ I/C® 1500/1575 シリーズ™









概説

本使用説明書には、お客様にエンジンに関連した危険とリスクを認識していただき、それを避けていただく為の安全情報が含まれています。又、エンジンの正しい使用と保守についての指示も含まれます。Briggs & Stratton社は必ずしも本エンジンが動力となる器具について周知してはいたないので、お客様がここにある指示と器具の指示とを讀まれて理解する事が重要となります。これ等の元の指示を将来的な参照用に保存して下さい。

交換部品や技術的なお手伝いに関しては、下記にエンジン・モデル、タイプ、コード番号を購入の日付と共に記録して下さい。これ等の番号については、エンジンに記載されています(特色とコントロールのページ参照)。

購入の日付 _____ MM/DD/YYYY

エンジンのモデル _____

モデル	タイプ	コード

電力定格個別のガソリン・モデルのエンジンの総電力定格はSAE(Society of Automotive Engineers)コードJ1940(Small Engine Power & Torque Rating Procedure)に従ってラベルに記載してあり、定格性能はSAE J1995により取得されます。トルク値は、ラベルに“rpm”が表記されたエンジンについては2600RPMにて求められ、その他のものについては3060 RPMにて求められました。馬力値については3600RPMにて求められました。総電力曲線については、ホームページのwww.BRIGGSandSTRATTON.co.jpにてご覧下さい。正味電力値については、排気とエア・クリーナー設置で測られていますが、総電力値については、これ等の付属品無しで測られました。実際の総エンジン電力は正味エンジン電力より高くなり、特に周辺の運転状況やエンジン間の誤差に影響されます。エンジンが設置される幅広い種類の製品があり、ガソリン・エンジンはある様々なエンジンの構成部品(エア・クリーナー、排気、充電、冷却、キャブレター、燃料ポンプ等)、応用の限界、周辺の運転状況(気温、湿度、高度)及びエンジン間の個別差を含む様々な要因によるものですが、これらの要因に限られるものではありません。製造と性能の限界によりBriggs & Strattonは、本エンジンより高い電力定格のエンジンで代行させる場合があります。

運転者の安全

安全とコントロールのシンボル



安全警告シンボル は人体の怪我につながる危険についての安全情報の確認に使用されています。(DANGER、WARNING、或いはCAUTION)のシグナル・ワードが警告シンボルと共に使用されて怪我の可能性と潜在的な怪我の重症度を示唆する為に使用されます。又、危険のタイプを表す危険シンボルも使用されます。

DANGERは避けられなかった場合に、**死**或いは**重症な怪我**になる危険を示します。

WARNINGは避けられなかった場合に、**死**或いは**重症な怪我**になる可能性のある危険を示します。

CAUTIONは避けられなかった場合に、**軽い**、或いは**中程度の怪我**の可能性のある危険を示します。

NOTICEは製品の損傷につながる **状態**を示します。

警告
本製品の特定の構成部品とその関連アクセサリは、カリフォルニア州において発がん、出生異常、その他の生殖的な害を及ぼす化学物質を含みます。取り扱いの後には手を洗って下さい。

警告
本製品のエンジン排気はカリフォルニア州において発がん、出生異常、その他の生殖的な害を及ぼす化学物質を含みます。

警告
Briggs & Stratton社のエンジンは、遊具のカート、ゴーカート、子供用やリクリエーション用やスポーツ用のオフロード・カー(ATV車)、オートバイ、ホーバー・クラフト、飛行機製品、Briggs & Stratton社が認定しない競技用会の車両の電力用には設計されていないので、使用しないで下さい。競技用の製品については、ホームページのwww.briggsracing.comをご覧ください。ユーティリティ及びサイド・バイ・サイドATVでの使用については、Briggs & Stratton Engine Application Center、1-866-927-3349にご連絡下さい。不適切なエンジンの応用は重症な怪我や死につながります

注意本エンジンはオイル無しでBriggs & Strattonから出荷されています。エンジンを始動させる前に必ず本使用説明書の指示に従ってオイルを加えて下さい。オイル無しで始動させた場合には、エンジンは修理不能な状態に破損し、保証の対象となりません。



警告



燃料及びその気化ガスは非常に燃えやすく、爆発しやすいです。
火災及び爆発は、重度の火傷や死亡事故の原因となります。

燃料を追加する際

- エンジンを切り、燃料キャップを外す前に少なくとも二分間エンジンを冷やして下さい。
- 燃料タンクは屋外、或いは換気の良い場所で充填して下さい。
- 燃料タンクは入れすぎにしないで下さい。燃料の膨張を考慮して、タンクの首部分より上には充填しないで下さい。
- 燃料はスパーク、覆われていない炎、パイロット・ランプ、熱、その他の引火の原因となるものから遠ざけて下さい。
- 燃料ライン、タンク、キャップ、金具のひび割れ、漏れを頻りに点検して下さい。必要に応じて交換して下さい。
- 燃料がこぼれた場合は、蒸発するまでエンジンの始動をお待ち下さい。

エンジンの始動時

- スパークプラグ、マフラー、燃料キャップ、エア・クリーナー（装備されている場合）が適所にあり固定されているのを確認して下さい。
- スパークプラグを外した状態でエンジンのクランクを回さないで下さい。
- エンジンがガソリンを吸い込みすぎて点火しない場合は、（装備されていれば）チョークをOPEN/RUNの位置に設定し、（装備されていれば）スロットルをFASTの位置にしてエンジンが始動するまでクランクを回して下さい。

器具を運転する時

- 燃料があふれ出るような角度にエンジンや器具を傾けないで下さい。
- キャブレターを絞ってのエンジン停止は行わないで下さい。
- エア・クリーナー・アセンブリ（装備されている場合）やエア・フィルター（装備されている場合）を外した状態でエンジンの始動や運転をしないで下さい。

オイルを交換する時

- 上部のオイル充填チューブからオイルを排出する際には、燃料タンクは空でないでと燃料が漏れて火災や爆発を起こす可能性があります。

保守の為にユニットを傾ける場合

- ユニットを傾ける事が必要な保守を行う場合には、燃料タンクは空でないでと燃料が漏れて火災や爆発を起こす可能性があります。

器具を輸送する場合

- 輸送時は燃料タンクを空にするか、燃料の遮断バルブをOFFにして下さい。

燃料或いはタンクに燃料が入ったままの器具を保管する場合

- 燃料の気化ガスに引火する可能性があるため、炉、ストーブ、給湯器、その他のパイロット・ランプその他の点火源付きの器具から離して保管して下さい。



警告



エンジンの始動はスパークを起こします。
スパークは付近の可燃性のガスに引火します。
爆発と火災が起きる可能性があります。

- 付近に天然ガスやLPガスが漏れている場合には、エンジンを始動させないで下さい。
- 気化ガスは可燃性なので、加圧されたスターター液は使用しないで下さい。



警告



有害ガスの危険性。エンジンの排気は、数分で死に至る有毒ガスである一酸化炭素を含みます。一酸化炭素は無味無臭です。排気ガスの臭いが無くても一酸化炭素に曝されている可能性があります。本製品の使用中に気分が悪くなったり、めまいがしたり、具合が悪くなった場合は、直ちに製品を停止して新鮮な空気にあたって下さい。医師の診察を受けて下さい。一酸化炭素中毒の可能性があります。

- 本製品は窓、戸口、換気口からは遠ざけて屋外でのみ運転し、一酸化炭素が蓄積して居住空間に吸い込まれる可能性が無いようにして下さい。
- 製造者の指示に従い、電池式の一酸化炭素警告機或いは、予備電池付きのコンセント差し込み式の一酸化炭素警告機を設置して下さい。一酸化炭素は煙探知機では探知出来ません。
- 本製品は、換気扇や換気の為に窓や戸を解放した場合でも家屋、ガレージ、地下室、床下の狭いスペース、小屋、その他の一部閉鎖された空間内では運転しないで下さい。一酸化炭素はこの様な空間では急速に増えて、製品の停止後も長時間残留します。
- 本製品は必ず風下に設置し、エンジンの排気口は居住空間に向けしないで下さい。



警告



始動用のコードの急激な収縮（反動）により、コードを手離すより早く手及び腕がエンジンに引き寄せられます。
骨折、挫傷、痣、捻挫の可能性があります。

- エンジンの始動時には、抵抗を感じるまで始動用のコードをゆっくり引き、次に素早く引く事により反動を防ぎます。
- エンジンを始動させる前に、全ての外部の器具/エンジン搭載物を取り外して下さい。
- 刃、羽根車、ブリー、スプロケット等の直接連結された器具構成部品は、確実に取り付けて下さい。



警告



回転する部品は手、足、髪の毛、衣服、アクセサリーを巻き込む可能性があります。
この結果として外傷性切断や重症な裂傷が起きる可能性があります。

- 器具のガードを設置して運転して下さい。
- 手足を回転する部品に近づけないで下さい。
- 長い髪の毛は束ねて、宝飾品類は外して下さい。
- 引っかかるような、緩い衣服、垂れ下がった紐や物を身につけないで下さい。



警告



運転中のエンジンは熱を発生します。特にマフラー等のエンジン部品は非常に熱くなります。
接触により、重篤な火傷をもたらす場合があります。
落ち葉、草、枝等の可燃のゴミに火が付く場合があります。

- マフラー、エンジン・シリンダ、フィン等は冷ましてから触れて下さい。
- マフラーとシリンダー付近にたまったゴミを除去して下さい。
- 排気システムが法律（California Public Resource Code, Section 4442）の章で定義された、正常に有効運転出来るスパーク・アレスタを装備されていない場合には、森林、雑木林、草地にての運転は同法律（California Public Resource Code, Section 4442）に抵触します。他の州や連邦の法域にも類似した法律があります。元の器具製造者、小売業者、ディーラーに連絡し、本エンジンに設置されている排気システム用に設計されたスパーク・アレスタをお求め下さい。



警告



不測のスパークは、火災や電気ショックの原因となります。
不測の始動は、絡みあい、外傷性切断や裂傷の原因となります。
火災の危険

調整や修理を行う前には次の事を行って下さい。

- スパーク・プラグの配線を切断して、スパーク・プラグから離しておいて下さい。
- バッテリーを負端子側で切断して下さい（電動スタートのエンジンのみ。）
- 的確な器具のみ使用して下さい。
- ガバナスプリング、リンク、その他の部品に手を加えてエンジンの速度を上げないで下さい。
- 交換部品は、元の部品と同デザインであり、又同位置に設置されなければなりません。他の部品を使用した場合には、性能が発揮されず、ユニットを傷めたり怪我の原因となります。
- 後に運転中に砕け散る可能性があるため、フライホイールを金づちや固い物体で叩かないで下さい。

スパークのテストを行う場合

- 認定のスパーク・プラグ・テスターを使用して下さい。
- スパーク・プラグを取り外した状態では、スパークの点検はしないで下さい。

機能とコントロール

図を比較して下さい①を比較して各種特色とコントロールの位置を把握して下さい。

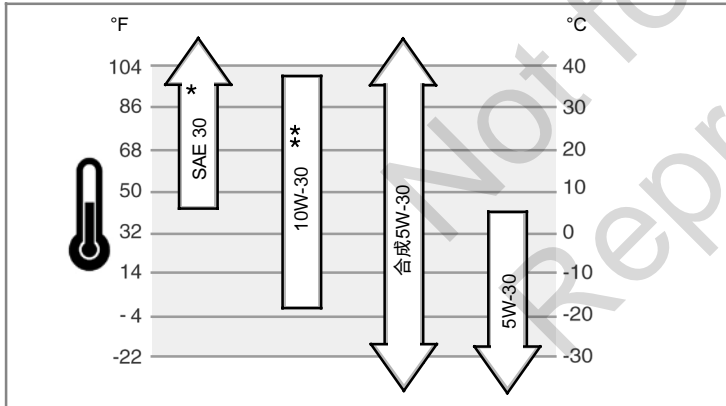
- A. エンジンの識別 (カバーに有ります)
モデル タイプ コード
- B. スパーク・プラグ
- C. エア・クリーナー (平面が楕円)
- D. チョーク・コントロール
- E. 燃料遮断バルブ (オプション)
- F. スターター・コード・ハンドル
- G. フィンガー・ガード
- H. スロットル・コントロール (オプション)
- I. ストップ・ウォッチ (オプション)
- J. 燃料タンク及びキャップ
- K. 拡張検油棒 (オプション)
- L. 短検油棒 (オプション)
- M. オイル・ドレーン・プラグ
- N. 給油
- O. マフラー
マフラー・ガード (オプション)
スパーク・アレスター (オプション)
- P. セーフティ・キー (電気起動モデル)
- Q. オン/オフ・スイッチ (電気起動モデル)
- R. ギア減速ユニット (オプション)
- S. キー・スイッチ (電気起動モデル)

運転

オイル容量 (仕様参照)

推奨オイル

性能の最大限発揮には、Briggs & Stratton 保証の認定オイルをお使い下さい。その他の高性能な清浄油については、サービス分類がSF, SG, SH, Sj以上であれば利用可能です。特別な添加物は使用しないで下さい。エンジン用オイルの正しい粘度は外気温によって決定されます。予想される外気温の範囲に最適な粘度を表より選んで下さい。



* 40°F (4°C)以下では、SAE 30を利用すると、エンジンの始動が難しくなります。

** 80°F (27°C)以上では、10W-30ではオイルの消費が増加します。オイルのレベルをより頻繁に点検して下さい。

点検方法/オイルの追加 - 図②④

オイルの追加もしくは点検の前に

- エンジンのレベルを設定して下さい。
- オイル充填口付近のゴミを清掃して下さい。

オイル充填キャップ付きのモデル(図2)

1. オイル充填キャップを取り外して下さい。(A)
2. オイルの充填は、エンジンのオイル充填口(B)にゆっくりオイルを注いで下さい。溢れるまで充填して下さい。
3. オイル充填キャップを戻して締めて下さい。

短い検油棒付きモデル(図2)

1. 検油棒を外して(C)きれいな布で拭いて下さい。
2. 検油棒を挿入しますが、**ねじ込まない**で下さい。オイルのレベルはFULLの印になっているはず(D)。
3. オイルの充填は、エンジンのオイル充填口(B)にゆっくりオイルを注いで下さい。溢れるまで充填して下さい。
4. 検油棒を交換して、締めて下さい。

拡張検油棒付きモデル(図4)

1. 検油棒をはずして(A)きれいな布で拭いて下さい。
2. 検油棒を挿入して締めて下さい。
3. 検油棒を外してオイル・レベルを点検して下さい。オイル・レベルは検油棒の満タン目盛り(B)上になければなりません。
4. オイルの追加は、エンジン・オイル充填口(C)にゆっくりオイルを注いで下さい。**入れすぎないようにして下さい**。オイルの追加後は、一分間待ってからオイル・レベルを再点検して下さい。
5. 検油棒を交換して、締めて下さい。

低油量保護システム (装備の場合)

部のエンジンには低油量センサの装備されています。油量が低すぎる場合には、センサにより警告灯が作動するかエンジンが停止します。エンジンの運転を再開する前にエンジンを停止し、次の手順に従って下さい。

- エンジンの水平を確認して下さい。
- オイルのレベルを点検して下さい。**オイルの点検/追加方法**の項をご覧ください。
- オイルのレベルが低い場合には、適正量のオイルを追加して下さい。エンジンを始動し、(装備されている場合には)警告灯が作動していない事を確認して下さい。
- オイルのレベルが低くない場合は、エンジンを**始動**させないで下さい。認定のBriggs & Strattonディーラーに連絡をして、オイルの問題を解決して下さい。

推奨燃料

燃料は次の条件を満たさなければなりません。

- 汚染されていない、新鮮な無鉛ガソリン。
- 最低87オクタン/87 AKI (91 RON)。高度における使用については、下記参照。
- 10%までのエタノール含有のガソリン (ガソホル)は許容されます。

注意E15やE85等の非認定のガソリンは使用しないで下さい。ガソリンにオイルを混ぜたり、代替燃料で動くようにエンジンを改造しないで下さい。非認定の燃料の使用はエンジン部品を傷め、エンジン保証は無効となります。

燃料システムの粘性物質の形成を防ぐ為に、燃料に燃料安定剤を燃料に混ぜて下さい。**必ず参照**。燃料は全て同じ訳ではありません。始動や性能に問題が出た場合には、燃料会社を変更するか銘柄を代えてみて下さい。本エンジンはガソリンでの運転について認定されています。本エンジンの排ガス浄化装置はEMです (エンジン改良)。

高度

5,000フィート(1524メートル)以上の高度では、最低85オクタン/85 AKI (89 RON)のガソリンが許容されます。排気ガスの準拠には、高度用の調整が必要です。この調整を行わないで運転した場合には、性能の低下、燃料消費の増加、排気量の増加の要因となります。高度調整については、認定されたBriggs & Strattonディーラーにお尋ね下さい。

2,500フィート(762メートル)以下の高度では、高度調節をした運転はお勧めしません。

燃料の追加方法 - 図③



警告



燃料及びその気化ガスは非常に燃えやすく、爆発しやすいです。火災及び爆発は、重度の火傷や死亡事故の原因となります。

燃料を追加する際

- エンジンを切り、燃料キャップを外す前に少なくとも二日間エンジンを冷やして下さい。
- 燃料タンクは屋外、或いは換気の良い場所で充填して下さい。
- 燃料タンクは入れすぎにしないで下さい。燃料の膨張を考慮して、タンクの首部分より上には充填しないで下さい。
- 燃料はスパーク、覆われていない炎、パイロット・ランプ、熱、その他の引火の原因となるものから遠ざけて下さい。
- 燃料ライン、タンク、キャップ、金具のひび割れ、漏れを頻繁に点検して下さい。必要に応じて交換して下さい。
- 燃料がこぼれた場合は、蒸発するまでエンジンの始動をお待ち下さい。

1. 燃料キャップ付近の埃とゴミを清掃して下さい。燃料キャップを外して下さい(A、図3)。
2. 燃料タンクに(B)燃料を充填して下さい。燃料の膨張を考慮して、タンクの首部分(C)の下部より上には充填しないで下さい。
3. 燃料キャップを再び取り付けて下さい。

エンジンの始動方法 - 図⑤⑥⑧



警告



始動用のコードの急激な収縮 (反動) により、コードを手離すより早く手及び腕がエンジンに引き寄せられます。**骨折、挫傷、痣、捻挫の可能性があります。**

- エンジンの始動時には、抵抗を感じるまで始動用のコードをゆっくり引き、次に素早く引く事により反動を防ぎます。

警告
 燃料及びその気化ガスは非常に燃えやすく、爆発しやすいです。
 火災及び爆発は、重度の火傷や死亡事故の原因となります。

エンジンの始動時

- スパークプラグ、マフラー、燃料キャップ、エア・クリーナー（装備されている場合）が適所にあり固定されているのを確認して下さい。
- スパークプラグを外した状態でエンジンのクランクを回さないで下さい。
- エンジンがガソリンを吸い込みすぎて点火しない場合は、（装備されていれば）チョークをOPEN/RUNの位置に設定し、（装備されていれば）スロットルをFASTの位置にしてエンジンが始動するまでクランクを回して下さい。

警告
 有害ガスの危険性。エンジンの排気は、数分で死に至る有毒ガスである一酸化炭素を含みます。一酸化炭素は無味無臭です。排気ガスの臭いがなくても一酸化炭素に曝されている可能性があります。本製品の使用中に気分が悪くなったり、めまいがしたり、具合が悪くなった場合は、直ちに製品を停止して新鮮な空気にあたって下さい。医師の診察を受けて下さい。一酸化炭素中毒の可能性があります。

- 本製品は窓、戸口、換気口からは遠ざけて屋外でのみ運転し、一酸化炭素が蓄積して居住空間に吸い込まれる可能性が無いようにして下さい。
- 製造者の指示に従い、電池式の一酸化炭素警告機或いは、予備電池付きのコンセント差し込み式の一酸化炭素警告機を設置して下さい。一酸化炭素は煙探知機では探知出来ません。
- 本製品は、換気扇や換気の為に窓や戸を解放した場合でも家屋、ガレージ、地下室、床下の狭いスペース、小屋、その他の一部閉鎖された空間内では運転しないで下さい。一酸化炭素はこの様な空間では急速に増えて、製品の停止後も長時間残留します。
- 本製品は必ず風下設置し、エンジンの排気口は居住空間に向けないで下さい。

注意本エンジンはオイル無しでBriggs & Strattonから出荷されています。エンジンを始動させる前に必ず本使用説明書の指示に従ってオイルを加えて下さい。オイル無しで始動させた場合には、エンジンは修理不能な状態に破損し、保証の対象となりません。
 注意器具にはリモコンが付く場合があります。リモコンの配置と操作については、器具の使用説明書をご覧ください。

1. オイルのレベルを点検して下さい。オイルの点検/追加方法の項をご覧ください。
2. 装備されている場合は、器具の駆動コントロールの取り外しを確認して下さい。
3. 装備されている場合は、燃料遮断バルブ(A)を「オン」の位置に回して下さい。(図5)。
4. チョーク・コントロール・レバーを(B)chokeの位置にして下さい
 注意チョークは暖まっているエンジンを再スタートさせる際には通常は不要です。
5. 装備されている場合は、スロットル・コントロール・レバーを(C)fastの位置にして下さい。スロットル・コントロール・レバーが「fast」の位置でエンジンの運転をして下さい。

保守

エンジン及びエンジン部品の全ての保守とサービスについては、いずれかのBriggs & Strattonの認定ディーラーへの連絡をお勧めします。
 注意正常な運転の為に、本エンジンを構成する全構成部品が定位置に無ければなりません。

注意 ユニットの傾ける必要がある保守を行う場合には、燃料タンクが空でないと燃料が漏れ出して火災や爆発を起こす可能性があります。

排気コントロール

排気コントロール装置とシステムの保守、交換、修理については、ノン・ロード・エンジン修理の施設或いは個人が行えます。しかしながら、“無料”の排気コントロールのサービスの受ける場合は、工場の認定したディーラーで行う必要があります。排気保証参照。

6. ストップ・スイッチが装備されたエンジンでは(D)、スイッチを「on」の位置に切り替えて下さい。
7. **リワインド・スタート**始動用コードのハンドルをしっかりと持ちます(E)。抵抗を感じるまで始動用のコードのハンドルをゆっくり引き、次に素早く引きます。注意エンジンが何度繰り返しても始動しない場合には、ホームページのBRIGGSandSTRATTON.co.jpをご覧ください。0748-33-3621にお電話下さい。

注意 始動用のコードの急激な収縮（反動）により、コードを手離すより早く手及び腕がエンジンに引き寄せられます。骨折、挫傷、痣、捻挫の可能性があります。エンジンの始動時には、抵抗を感じるまで始動用のコードをゆっくり引き、次に素早く引く事により反動を防ぎます。

8. **Safety Keyを使った電動始動(F)**:
 セーフティ・キーを押して下さい(F)。始動スイッチを一瞬押して下さい(G)。エンジンが始動したら、始動スイッチを放して下さい(図6)。
9. **Automotive Key Switch(H)を使った電動始動** キースwitchを(H)startの位置に回して下さい。エンジンが始動したら、キースwitchを放して下さい(図8)。
 注意スターターの寿命を長くする為には短い始動のサイクルで使用し、一分間に15秒以上は超えない様にします。クランクの回しすぎはスターター・モーターを傷めます。
 注意エンジンが何度繰り返しても始動しない場合には、ホームページのBRIGGSandSTRATTON.co.jpをご覧ください。0748-33-3621にお電話下さい。
10. エンジンが暖まったら、チョークのコントロールを(B運転)の位置に動かします(図5)。

エンジンの停止方法 - 図7

警告
 燃料及びその気化ガスは非常に燃えやすく、爆発しやすいです。
 火災及び爆発は、重度の火傷や死亡事故の原因となります。

- キャブレターを絞ってのエンジン停止は行わないで下さい。

1. スロットル・コントロール・レバーが装備されているモデルでは(A)、スロットル・コントロール・レバーをslowから移動してstopストップ・スイッチを(B) (装備されていれば)配置する(図参照7)の位置に移動して下さい。
 停止位置に移動して下さい。
 或いは
電動始動: セーフティ・キー(C、図7)を抜いて下さい。セーフティ・キーは子供の手が触れない場所に保管して下さい。
 或いは
 キー・スイッチ(H図8)をオフまで回して下さいの位置に回して下さい。キー・スイッチを抜いて下さい。キー・スイッチは子供の手が触れない場所に保管して下さい。
2. エンジンの停止後は、燃料遮断バルブ(D)を閉鎖位置に回して下さい。図7参照。

警告
 不測のスパークは、火災や電気ショックの原因となります。
 不測の始動は、絡みあい、外傷性切断や裂傷の原因となります。
 火災の危険

調整や修理を行う前には次の事を行って下さい。

- スパーク・プラグの配線を切断して、スパーク・プラグから離しておいて下さい。
- バッテリーを負端子側で切断して下さい(電動スタートのエンジンのみ。)
- 的確な器具のみ使用して下さい。
- ガバナスプリング、リンク、その他の部品に手を加えてエンジンの速度を上げないで下さい。
- 交換部品は、元の部品と同デザインであり、又同位置に設置されなければなりません。他の部品を使用した場合、性能が発揮されず、ユニットを傷めたり怪我の原因となります。
- 後に運転中に砕け散る可能性があるため、フライホイールを金づちや固い物体で叩かないで下さい。

スパークのテストを行う場合

- 認定のスパーク・プラグ・テスターを使用して下さい。
- スパーク・プラグを取り外した状態では、スパークの点検はしないで下さい。

保守表

最初の5時間
<ul style="list-style-type: none"> オイル交換
8時間ごと、或いは毎日
<ul style="list-style-type: none"> エンジン・オイル・レベルの点検 マフラー及びコントロール付近を清掃 フィンガー・ガードを清掃
25時間ごと、或いは年に一回
<ul style="list-style-type: none"> エア・フィルターの清掃* ブレ・クリーナーの清掃*
50時間ごと、或いは年に一回
<ul style="list-style-type: none"> エンジン・オイルの交換 マフラーとスパーク・アレスターの点検
100時間ごと
<ul style="list-style-type: none"> ギア減速油の交換(装備されている場合)
年に一回
<ul style="list-style-type: none"> エアフィルターの交換 ブレ・クリーナーの交換 スパーク・プラグの交換 燃料フィルターの交換 空気冷却システムの清掃* バルブのクリアランスを点検する。 **

* 埃の多い状態や、浮遊するゴミがある場合にはより頻繁に清掃して下さい。

** エンジンの性能に問題が無い場合は、必要ありません。

キャブレター及びエンジン速度の調節

キャブレター及びエンジン速度の調節は絶対に行わないで下さい。キャブレターは工場出荷時にほとんどの条件下で効率的に動くように設定されています。エンジン速度の変更の為にガバナ・スプリング、リンケージもしくはその他の部品の交換を行わないで下さい。調節が必要な場合には正規のBriggs & Stratton サービス・センターにご連絡下さい。


注意 器具の製造者は、エンジンの最高速度を特定しており、これは器具に表示されています。この速度を**超えない**で下さい。器具の最高速度或いは工場出荷時のエンジン速度の設定について定かでは無い場合には正規のBriggs & Stratton サービス・センターにご連絡下さい。器具の安全で適正な運転の為に、エンジン速度は資格を持ったサービス技術者のみが調節して下さい。

スパーク・プラグの交換方法 - 図 9

針金ゲージ(B)で隙間(A、図9)を点検して下さい。必要に応じて隙間を再設定して下さい。スパーク・プラグを設置し、推奨トルクまで締めして下さい。隙間の設定とトルクについては **仕様** をご覧下さい。

注意 地区によっては現地法により点火シグナルの抑制の為に、レジスタ・スパーク・プラグの使用が要求されています。本エンジンに最初にレジスタ・スパーク・プラグが装備されていた場合には、同タイプで交換して下さい。

マフラーとスパーク・アレスターの点検 - 図 10



警告


運転中のエンジンは熱を発生します。特にマフラー等のエンジン部品は非常に熱くなります。

接触により、重篤な火傷をもたらす場合があります。

落ち葉、草、枝等の可燃のゴミに火が付く場合があります。

- マフラー、エンジン・シリンダ、フィンが冷ましてから触れて下さい。
- マフラーとシリンダー付近にたまったゴミを除去して下さい。
- 排気システムが法律 (California Public Resource Code, Section 4442) の章で定義された、正常に有効運転出来るスパーク・アレスタを装備されていない場合には、森林、雑木林、草地にての運転は同法律 (California Public Resource Code, Section 4442) に抵触します。他の州や連邦の法域にも類似した法律があります。元の器具製造者、小売業者、ディーラーに連絡し、本エンジンに設置されている排気システム用に設計されたスパーク・アレスタをお求め下さい。

マフラーとシリンダー付近にたまったゴミを除去して下さい。マフラー(A、図10)のひび割れ、腐食、その他の損傷を点検して下さい。装備されている場合はスパーク・アレスタ(B)を取り外して、破損と炭素詰まりの点検をして下さい。破損が見つかった場合には、運転前に交換部品を設置して下さい。



注意 交換部品は、元の部品と同デザインであり、又同位置に設置されなければなりません。他の部品を使用した場合には、性能が発揮されず、ユニットを傷めたり怪我の原因となります。

オイルの交換方法 - 図 11 12 13

使用済みのオイルは危険な廃棄物であり、適切に廃棄しなければなりません。家庭ゴミと一緒に廃棄しないで下さい。安全な廃棄/リサイクル施設については、地方自治体、サービス・センター、ディーラーにご確認下さい。

オイルの抜き方

- エンジンが切れているけれども未だ暖まっている状態で、スパーク・プラグの配線(A)を切断して、スパーク・プラグから離します(図11)。
- オイル・ドレーン・プラグを外して下さい(B、図12)。オイルを認可された容器に空けて下さい。
注意 エンジンに設置可能なのは、以下に表示されたいずれかのオイル・ドレーン・プラグです。



- オイルを流し出した後は、オイル・ドレーン・プラグを差し込み、締めて下さい。

オイルの注入

- エンジンのレベルを設定して下さい。
- オイル充填口付近のゴミを清掃して下さい。
- オイル容量については **仕様** をご覧ください。

オイル充填キャップ付きのモデル

- オイル充填キャップを外して下さい(D、図12)。
- オイルをエンジンのオイル充填口にゆっくり注いで下さい(E)。あふれ出るまで注入します。
- オイル充填キャップを戻して締めて下さい。


短い検油棒のモデル

- 検油棒を外し(F、図12)きれいな布で拭いて下さい。
- オイルをエンジンのオイル充填口にゆっくり注いで下さい(E)。あふれ出るまで注入します。
- 検油棒を設置しますが**ネジ込まない**で下さい。取り出してオイル・レベルを点検します。オイル・レベルは検油棒のFULLの印(G)になければなりません。
- 検油棒を設置してネジを締めます。

拡張検油棒付きモデル

- 検油棒を外し(F、図13)きれいな布で拭いて下さい。
- オイルをゆっくりエンジンのオイル充填口に注いで下さい(E)。注入し過ぎないようにして下さい。注油後は一分間待ち、その後オイル・レベルを再点検して下さい。
- 検油棒を設置してネジを締めます。
- 検油棒を取り外し、オイル・レベルを点検して下さい。オイル・レベルは検油棒の満タン目盛り(G)の上になければなりません。
- 検油棒を設置してネジを締めます。

エア・フィルターのサービス方法 - 図 14 15 16



警告

燃料及びその酸化ガスは非常に燃えやすく、爆発しやすいです。火災及び爆発は、重度の火傷や死亡事故の原因となります。

- エア・クリーナー・アセンブリー(装備されている場合)やエア・フィルター(装備されている場合)を外した状態でエンジンの始動や運転をしないで下さい。

注意 フィルターの清掃には圧搾空気や溶剤は使用しないで下さい。圧搾空気はフィルターを傷める可能性があり、溶剤はフィルターを溶かします。エア・クリーナー・システムにはオプションのブレ・クリーナー付きのひだ付きフィルターを使用されています。ブレ・クリーナーは洗って再使用出来ます。

平面エア・フィルター(図14及び図15)

- カバー(A)を留めている留め具(D)を緩めて下さい。
- カバーを開けてブレ・クリーナー(C)とフィルター(B)を外して下さい。
- フィルターを固い表面に軽く打ちつけて、ゴミを浮かします。フィルターが酷く汚れている時は新しいフィルターと交換して下さい。
- ブレ・クリーナーを液体洗剤と水で洗って下さい。そして完全に自然乾燥させて下さい。ブレ・クリーナーにはオイルを**浸さない**で下さい。
- ブレ・クリーナーのふち(G)がフィルターのひだの下部になる様に、ブレ・クリーナーをフィルターに組み付けます。
- フィルターを設置して下さい。
- 図14に示されたエア・フィルターを装備されたモデルでは、カバーの爪(E)を溝(F)にさして込んで下さい。
- カバーを閉じて留め具で固定して下さい。

楕円エア・フィルター(図16)

- カバー(A)を留めている留め具(D)を緩めて下さい。
- カバーを開けてブレ・クリーナー(C)とフィルター(B)を外して下さい。
- ブレ・クリーナー(C)が装備されている場合は、フィルターから外して下さい。フィルターを固い表面に軽く打ちつけて、ゴミを浮かします。フィルターが酷く汚れている時は新しいフィルターと交換して下さい。
- ブレ・クリーナーを液体洗剤と水で洗って下さい。そして完全に自然乾燥させて下さい。ブレ・クリーナーにはオイルを**浸さない**で下さい。
- 乾燥したブレ・クリーナーをフィルターに組み付けて下さい。
- フィルターとブレ・クリーナーをベース(E)とスタッド(F)に設置して下さい。フィルターがベースにしっかりと嵌っている事を確認して下さい。
- エア・フィルターのカバーを設置して留め具で固定して下さい。留め具が固く留められている事を確認して下さい。

ギア減速オイルの交換方法 - 図 17

お客様のエンジンがギア減速ユニットを装備している場合には、次の方法でサービスを行って下さい。

1. オイル充填プラグ(B)とオイル・レベル・プラグ(C)を外して下さい。
2. オイル・ドレーン・プラグを取り外して(A、図17)オイルを適当な容器に流し出して下さい。
3. オイル・ドレーン・プラグを設置し締めして下さい。
4. 充填は、ゆっくりギア潤滑油をオイル充填口に注いで行います。(仕様参照)。オイルがオイル・レベル口より溢れるまで注ぎ続けて下さい。
5. オイル・レベル・プラグを設置して締めます。
6. オイル充填プラグを設置して締めます。
重要オイル充填プラグには、通気口(D)があるので、図に示されている様にギアケース・カバーの上に設置して下さい。

燃料フィルターの交換方法 - 図 18



警告



燃料及びその気化ガスは非常に燃えやすく、爆発しやすいです。
火災及び爆発は、重度の火傷や死亡事故の原因となります。



- 燃料はスパーク、覆われていない炎、パイロット・ランプ、熱、その他の引火の原因となるものから遠ざけて下さい。
- 燃料パイプ、タンク、キャップ、留め具のひび割れや漏れを頻繁に点検して下さい。必要に応じて交換して下さい。
- 燃料フィルターを交換する前に、燃料タンクから燃料を排出するか、燃料遮断バルブを閉めて下さい。
- 交換部品は、元の部品と同デザインであり、又同位置に設置されなければなりません。
- 燃料がこぼれた場合は、蒸発するまでエンジンの始動をお待ち下さい。

1. 装備されている場合には燃料フィルター(A、図18)を交換する前に、燃料タンクの燃料を排出するか、燃料遮断バルブを閉めて下さい。この様にならないと、燃料が漏れ出して火災や爆発を起こす可能性があります。
2. ペンチで締め具(C)の爪(B)をつかみ、締め具を燃料フィルターからスライドさせて離します。燃料パイプ(D)を振りながら引き、燃料フィルターから外します。
3. 燃料パイプのひび割れや漏れを点検して下さい。必要であれば交換して下さい。
4. 燃料フィルターは純正の器具の交換フィルターと交換して下さい。
5. 図に示されるように、燃料パイプをクランプで固定して下さい。

空気冷却システムの清掃方法 - 図 19



警告



運転中のエンジンは熱を発生します。特にマフラー等のエンジン部品は非常に熱くなります。



接触により、重篤な火傷をもたらす場合があります。



落ち葉、草、枝等の可燃のゴミに火が付く場合があります。

- マフラー、エンジン・シリンダ、フィンが冷ましてから触れて下さい。
- マフラーとシリンダー付近にたまったゴミを除去して下さい。

注意エンジンを水で洗わないで下さい。水は燃料システムを汚染する可能性があります。ブラシが乾いた布でエンジンを清掃して下さい。

本エンジンは空気冷却式です。埃やゴミは空気の流れを制限してエンジンの過熱を招き、性能を低下させてエンジンの寿命も縮めます。

ブラシが乾いた布を使用してフィンガード(A) (図 19)のゴミを取り除いて下さい。リンケージ、スプリング、コントロール(B)に汚れない様にして下さい。マフラー(C)付近に可燃なゴミが無いようにして下さい。

保管



警告



燃料及びその気化ガスは非常に燃えやすく、爆発しやすいです。
火災及び爆発は、重度の火傷や死亡事故の原因となります。



燃料或いはタンクに燃料が入ったままの器具を保管する場合

- 燃料の気化ガスに引火する可能性があるため、炉、ストーブ、給湯器、その他のパイロット・ランプその他の点火源付きの器具から離して保管して下さい。

燃料システム

燃料は30日以上保管された場合には劣化する可能性があります。劣化した燃料は燃料システムや基本的なキャブレターの部品に酸性や粘性の沈着物を発生させます。燃料の鮮度を保つには、Briggs & Stratton 純正部品を扱う店で販売しているBriggs & Stratton Advanced Formula Fuel Treatment & Stabilizerをご使用下さい。

FRESH START®燃料キャップを装備されたエンジンには、ドリップ式濃縮カートリッジのBriggs & Stratton FRESH START®をご使用下さい。

燃料安定剤が指示通りに加えてある場合には、エンジンからガソリンを排出する必要はありません。保管前にエンジンを2分間運転し、保管前に安定剤を燃料システム中に循環させます。

燃料安定剤で処理されていない場合には、エンジンのガソリンは認定の容器に排出させる必要があります。エンジンが燃料不足で止まるまで運転を続けて下さい。鮮度を保つには、保管容器に燃料安定剤を使用する事が推奨されます。

エンジン・オイル

エンジンが温まっているうちにエンジンオイルの交換をして下さい。

トラブルシューティング

お困りですか？ホームページの{F1} BRIGGSandSTRATTON.co.jp をご覧になるか0748-33-3621 (アメリカ合衆国内)にお電話下さい。

仕様

エンジン仕様	
モデル	120000
排気量	12.48 ci (205 cc)
ボア	2.688 in (68.28 mm)
ストローク	2.200 in (55.88 mm)
エンジン・オイル容量	18 - 20 oz (0.54 - 0.59 L)

ギア減速仕様 (装備されている場合)	
ギア減速オイルのタイプ	80W-90
ギア減速オイル容量	4 oz (0.12 L)

エンジン仕様	
モデル	150000
排気量	15.24 ci (250 cc)
ボア	2.970 in (75.44 mm)
ストローク	2.200 in (55.88 mm)
エンジン・オイル容量	18 - 20 oz (0.54 - 0.59 L)

ギア減速仕様 (装備されている場合)	
ギア減速オイルのタイプ	80W-90
ギア減速オイル容量	4 oz (0.12 L)

エンジン仕様	
モデル	200000
排気量	18.63 ci (305 cc)
ボア	3.120 in (79.24 mm)
ストローク	2.438 in (61.93 mm)
エンジン・オイル容量	26 - 28 oz (0.77 - 0.83 L)

ギア減速仕様 (装備されている場合)	
ギア減速オイルのタイプ	SAE 30
ギア減速オイル容量	12 oz (0.35 L)

エンジン仕様	
モデル	210000
排気量	20.85 ci (342 cc)
ボア	3.300 in (83.81 mm)
ストローク	2.438 in (61.93 mm)
エンジン・オイル容量	26 - 28 oz (0.77 - 0.83 L)

ギア減速仕様 (装備されている場合)	
ギア減速オイルのタイプ	SAE 30
ギア減速オイル容量	12 oz (0.35 L)

調整仕様*	
モデル	120000, 150000
スパーク・プラグの隙間	0.030 in (0.76 mm)
スパーク・プラグのトルク	180 lb-in (20 Nm)
アーマチャー間エア・ギャップ	0.010 - 0.014 in (0.25 - 0.36 mm)
吸気弁のクリアランス	0.004 - 0.006 in (0.10 - 0.15 mm)
排気弁のクリアランス	0.009 - 0.011 in (0.23 - 0.28 mm)

調整仕様*	
モデル	200000, 210000
スパーク・プラグの隙間	0.030 in (0.76 mm)
スパーク・プラグのトルク	180 lb-in (20 Nm)
アーマチャー間エア・ギャップ	0.008 - 0.012 in (0.20 - 0.30 mm)
吸気弁のクリアランス	0.004 - 0.006 in (0.10 - 0.15 mm)
排気弁のクリアランス	0.004 - 0.006 in (0.10 - 0.15 mm)

*エンジン出力は、海拔1,000 フィート(300 メーター)毎に3.5%減少し、10° F (5.6° C)以上77° F (25° C)毎に1%減少します。エンジンは、15°までの角度では順調に運転します。坂における安全な許容運転制限については器具の使用説明書をご覧ください。

共通サービス部品

サービス部品	部品番号
平面エア・フィルター	491588, 5043
平面エア・フィルター用プレ・クリーナー	493537, 5064
楕円エア・フィルター、モデル120000、150000	697029, 5059
楕円エア・フィルター、モデル120000、, 150000	273356
楕円エア・フィルター、モデル 200000、210000	695302
楕円エア・フィルター、モデル 200000、210000	695303

サービス部品	部品番号
燃料フィルター	694485
燃料添加物	5041, 5058
レジスター・スパーク・プラグ	491055
長寿命プラチナ・スパーク・プラグ	5066
スパーク・プラグ用レンチ	89838, 5023
スパーク・テスター	19368

エンジン及びエンジン部品の保守とサービスについてはいずれかのBriggs & Stratton認定ディーラーをご利用下さい。

限定的保証

ブリグス・アンド・ストラットン社は下記に特定された保証期間中はエンジンのいかなる部品における素材、施工、もしくは両方の不良について無料で修理もしくは交換をします。本保証に関する修理、交換の為に提出される製品の送料は購入者が支払うものとします。本保証は下記の期間及び条件下で有効です。サービス保証については、購入者はホームページのBRIGGSandSTRATTON.COMの販売店検索地図を使用して最寄りの認定サービス販売店にご連絡下さい。ご連絡後に検査とテストの為にエンジンを認定サービス販売店にお引き渡し下さい。

本保証以外に明示された保証は有りません。黙示された保証については、商品性、特定目的への適合性を含み購入より下記に限定される期間、或るいは法律が許す範囲とします。その他の黙示された保証は除外します。付随的或いは結果的な損害の責任については、法律が許す範囲で除外します。州或いは国によっては、黙示された保証の期間について制限が許容されず、又州或いは国によっては、付随的或いは結果的な損害について除外や制限が認められません。その場合には制限と除外はお客様には適用されません。本保証はお客様に特定の法的な権利を付与するものであり、各州、各国により異なるものです**。

標準的な保証条件* ▲

ブランド/製品タイプType	家庭用	業務用
Vanguard™ ■	2年	2年
Commercial Turf™ シリーズ	2年	2年
Dura-Bore™ Cast Iron Sleeveを特色とするエンジン	2年	1年
その他全てのBriggs & Strattonエンジン	2年	90日

- * 記載されているものがBriggs & Stratton社の標準保証条件ですが、出版時に決定されていなかった保証が追加される場合もあります。お持ちのエンジンに関する最新の保証条件のリストについては、ホームページのBRIGGSandSTRATTON.COMを参照されるか、Briggs & Strattonの認定サービス・ディーラーにご連絡下さい。
- ** オーストラリア国内 - Briggs & Stratton社の製品はオーストラリア消費者法から除外されません。重大な不良については交換か返金、又合理的に見て予測可能な損失や損害については補償の権利が生じます。製品が受諾可能な品質ではなく、その不良が重大な不良には至らない場合には、製品の修理或いは交換を求める権利が生じます。保証サービスについては、ホームページのBRIGGSandSTRATTON.COMのディーラー検索地図、1300 274 447への電話、salesenquiries@briggsandstratton.com.au宛てのメール、Briggs & Stratton Australia Pty Ltd, 1 Moorebank Avenue, Moorebank, NSW, Australia, 2170宛ての書面にて最寄りの認定サービス・ディーラーまでご連絡下さい。
- ▲ 電力の代わりに主電源として、又は業務用の目的でスタンバイ発電機に使用される器具のエンジンについては保証はありません。競技としてのレース又は業務用、レンタルのトラックにて使用されるエンジンについては保証されません。
- スタンバイ発電機に設置されたVanguardについては、2年間の家庭使用、業務使用には保証無しです。実用車に設置されたVanguardには2年間の家庭使用、2年間の業務使用の保証です。液冷式Vanguard 3-シリンダー... Briggs & Stratton 3/LC エンジン所有者用の保証書参照。

保証期間の開始は最初の個人客或いは業務上のエンドユーザーの購入日に開始します。“家庭使用とは”個人客による住宅での家庭内の使用を意味します。“業務使用”とは、業務的なもの、収益、レンタル目的を含むその他の全ての使用を意味します。一旦エンジンが業務用として使われた場合には、以降は本保証に関しては、業務使用のエンジンとみなします。

購買の証拠となるレシートを保管して下さい。保証サービスを求める時に最初の購買の証拠の提出をされない場合には、製品の製造期日をもって保証期間を決定します。Briggs & Stratton 製品に對しての保証サービスには製品登録の必要はありません。

保証について

本限定品質保証はエンジン関連の材料或いは作業に関する問題点、もしくはその両方に限られ、エンジンが搭載された器具の交換や返金は適応外です。定期点検、チューンアップ、調節、通常の摩耗は本保証には入りません。エンジンの変更や改造、エンジンの連番が見にくかったり消されている場合にも同様に、保証は適応しません。本保証書は使用済、修理済、中古、デモンストレーション用の器具或いはエンジンであったものは含みません。本保証には次により発生したエンジンの破損や性能の問題は入りません。

- 1 Briggs & Stratton の純正ではない部品の使用、
- 2 不十分であったり、汚染されていたり、或いは不適当な等級の潤滑油でのエンジンの運転、
- 3 汚染されたり古くなった燃料、10%以上のエタノールで産生されたガソリン、液化石油や天然ガスの様な代替燃料をその様な燃料の使用で運転される様に Briggs & Stratton が元来設計したり製造していないエンジンでの使用、
- 4 不適切な空気清浄機のメンテナンスや組立直しによりエンジンに侵入した土、

- 5 ロータリ芝刈り機のカッターの刃を物体に当てたり、緩むか不適切に設置されたカッターの刃のアダプタ、インペラその他のクランクシャフトに組み付けられた装置、或いは過度な v ベルトの締め付け、
- 6 Briggs & Stratton が供給していない関連部品やクラッチ、トランスミッション、器具のコントローラ等の組立部品、
- 7 冷却フィンやフライホイール付近を塞いだり詰まらせる刈り取った草、土、ゴミ、ネズミ等の巣による過熱、又は充分な換気無しでのエンジンの操作、
- 8 過剰な加速による過度な振動、緩んだエンジン台、緩んでいるかバランスの悪いカッターの刃やインペラ、クランクシャフトへ不適切な器具構成部品の組み付け、
- 9 器具についての誤使用、定期点検の欠落、配送、取扱、補完、又不適切なエンジンの設置。

保証サービスはBriggs & Stratton 社の認定されたサービス・ディーラーでのみ提供しております。最寄りの認定されたサービス・ディーラーについては、ホームページBRIGGSandSTRATTON.COMのディーラーの検索地図よりお探し頂くか、1-800-233-3723 (米国内) にご連絡下さい。